

# 「真を打つ」

～祈りと御言葉は奇跡をもらす～

マタイ3：13～17

## 真を打つ

私たちの人生にとって大事なことは真を打つということです。皆さんは人生の中心、あなたの考えかたの中心はどこにありますか。人間にとって中心は何でしょう。神様が最初私たちを造った時どのように造ったのでしょうか。聖書には、神様は人間を神様に似せて造ったと書いてあります。だから、本来人は人の姿や行為を見て感動し、人格をみて感動するように造られています。しかし、今私たちは、どうでしょうか。人の立派な行為をみても、低く見たり、悪く言ったり、自分自身もさげすんだりして、感動しなくなっているのではないでしょうか。

(マタイ3：13～17) イエス様はどうしてバプテスマを受けたのでしょうか。バプテスマをけることで、真を打ったのです。私たち達にとっても、不条理と思えることがあります。なぜ、私がこんな目にあうの？同じように不条理と思えるようなことこれがイエス様の洗礼です。私たちの人生も同じです。私のすべきではない。私の出る幕ではないと思えるときこそ、そこ大切な意味があるのです。しかし、気づかないことが多いのです。イエスキリストもプライドをもって生きるなら、ヨハネから洗礼を受けなくてよかったですでしょう。しかし、イエス様はそれを選びませんでした。

## 自責、劣等感の追放

劣等感は本来、他者から感じるものではなく、自己から感じるものである。

神様から、幾分劣るものとして造られた私たちは、神様のすがたになりたいと願うものです。だから、神様から劣等感を感じるように本来ならつくられています。しかし、神様は遠い存在で、神様は偉大すぎるから比較の対象にはなるとは考えず、隣の人と比べるようになりました。乗っている車を比較したり、着ている服を比較したり、そして、相対的な劣等感が、競争社会の中で憎しみをもたらすようになりました。しかし、クリスチャンはそのような生き方は選ばず、人と比べるのではなく神様を中心に置き、神様との比較の中に劣等感を感じ、神様の姿になりたいと願うからこそ神様の本質に近づくのがクリスチャンの人生です。現実主義では神様に近づくことはできません。人を見るのではなく、神様をみて自分に劣るところに気が付いたら、本来神様が造ってくださった姿に戻ろうと決心しましょう。

神様が与えてくださったイメージを私たちが共有するとどんどん実を結んでいきます。神様はもともと私たちの中心に私たちに語り掛けてくださる大事なものを用意して下さっているのです。そこを「真を打って」いないと私たたちは脱線していきます。目の前に見える現状、目先のことに目が行ってしまつて、本当に大事なことがなくなってしまう。そして真がなくなると欲に支配されてしまいます。自分をコントロールする方法は真を打つことです。それは、イエス様といることです。ではイエス様といるにはどうしたらいいのでしょうか。イエス様を祈りで感じることです。イエス様は誰かと向き合う時、何かを語るとき誰かと何かをするときいつも必ず祈っていました。真に戻るようにしたのです。あな

たがどこに行くにも神を認めると聖書にあります。イエス様はあなたのすぐそばにいます。しかし、そばから、来てくださいと言わないと、あなたのただ中にははいれないのです。「見よ、私は戸の外に立って戸を叩く、もしあなたが戸を開けるならば私はあなたの中に入る」と書かれています。種がよい地にまかれ育ちます。しかし、いばらが生えた地では種がそだたなくなってしまう。しかし、よい地にまかれた種は三十倍六十倍百倍の実を結びます。皆さんはよい地になろうとしていますか。私たちは、周りや環境のせいになります。しかし、あなたがどこにいても、よい地にすることが出来ます。耕すのは神様です。自責や、劣等感をもっています。しかし、信仰によって義とすると神様は約束してくださいました。だから、自分を責めるのをやめなければいけません。あなたは神様が作った作品を否定しているのです。

誹謗中傷するのをやめてください。自分を責める心がかくれて人を責める心になっているだけです。自分を責めていると自責と劣等感に苛まれてあなたの本質を失います。自分を責めるのをやめて、自らが持てるもので、だれかに感動してあげたらどうでしょう。その人から神様を感じたらどうでしょう。

## あなたの中心は誰か ローマ 3:20-24

すべての人が罪を犯したのだから、神様の目から見れば、すべての人が劣等生です。

しかし、罪がゆるされ、イエスキリストの贖いのゆえに、信仰によって義と認められました。だから、自分を裁くのをやめなければいけません。すると人を裁かなくなります。そのためには、中毒になっていることを神様とっていただけるように祈り、失敗してもまた変わり続ける。決心をしましょう。

## あなたは神の作品

作品の本質を損なわないでください。私たちは神の作品であってよい行いをするために、よい行いすらあらかじめ備えられているのです。だから、あなたがやってうまくいくのはあたりまえです。しかしあなたが否定的な感情、欲に支配されているのであればこれらの物は捨てて、神様が造った方向に向かってないならば、祈り感じてください、イエス様はあなたになにをしてほしいと願っているのか。もしあなたが聞けば聞こえます。罪を赦してもらおうよう祈り、神様が戻してくださることを願いましょう。神様が造ってくださった元の自分に戻ることを決断しましょう。

(要約者:澤口 明子)

(1月29日)